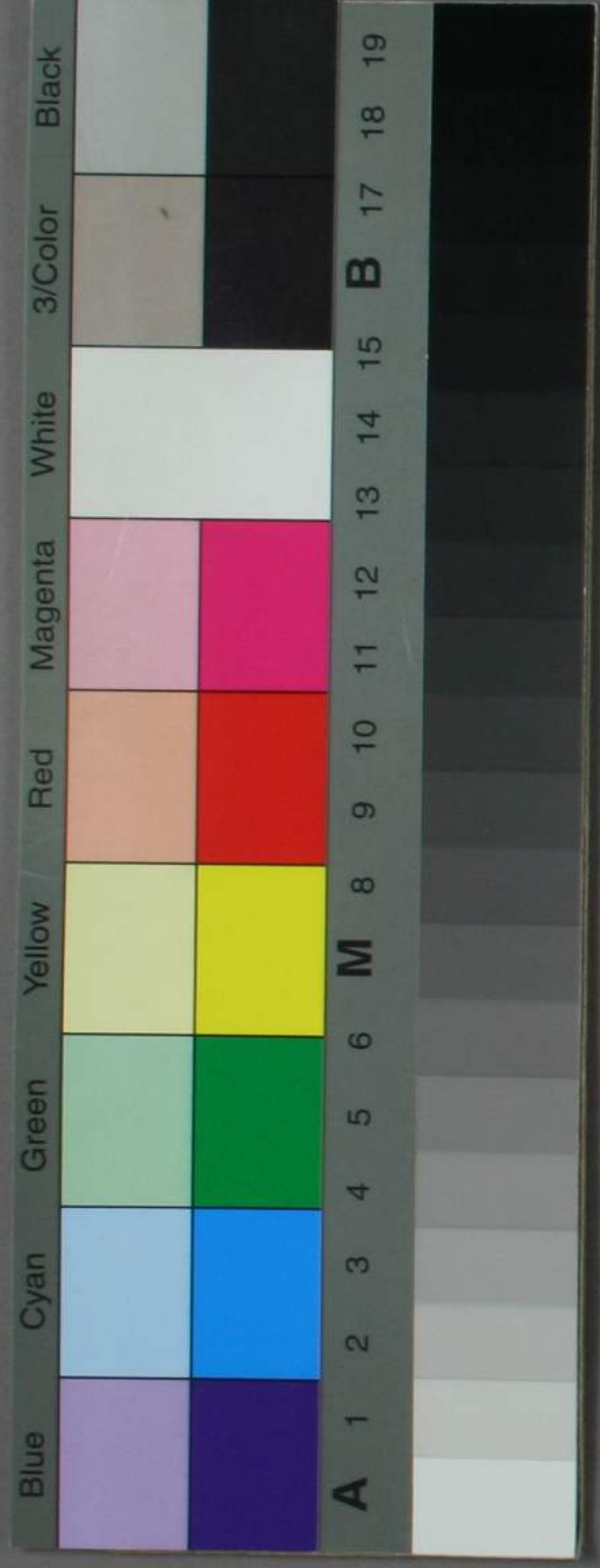






續一休多形 卷之三 目錄

- 一休兼病人の娘は教にけり事
- 一休ある字を訓新事
- 大吹竹の戒を破りし事
- 一休和当古法眼の結は狂言をせし事
- 紫竹の休熱書を離縁の事
- 一休お弟子はどの事
- 一休奈良の里少く同養の事
- 一休硝子の魚は詩を題しけり事

續一休 卷之三

○一休 疾病人の娘を教へし事

都のふ安居流の町に疾病人をこづゝひ悩める人あり。医療を
とて。つらくとせ。つゝ薬を用ひず。つゝつらなり。し
ども。ふ。小。眉。落。ち。し。魚。面。つ。ら。く。奥。く。目。よく。社。は。ま
り。一人の娘あり。例あき。孝。子。と。振。く。と。公。を。尽。く
佛。神。へ。祈。を。け。益。を。ま。く。く。も。眠。び。ず。い。う。と。孝
行。を。な。す。世。ふ。大。切。小。病。し。る。が。た。り。を。欲。知。見。の。教
醫。の。い。ひ。き。き。を。い。娘。女。公。小。誠。と。い。ひ。た。と。う。ま。二。休
の。店。小。娘。の。あり。お。る。へ。お。目。小。娘。り。あ。を。さ。き。う。と
い。い。入。り。ふ。や。ぐ。く。一。休。を。お。し。ひ。あ。あ。と。人。と。招。き。お。し。ま。で





あゝ父うへ又欲^{ほつ}きさ^つは^つん^んる^るもかあ^あとてやうくと^と均^と
 乃^{なり}一^{ひと}均^{ひと}んとせ^せ。一^{ひと}体^{てい}づ^づふ^ふ少^{せう}女^{にょ}の^のま^まを^を均^とさ^さへ^へ
 是^{こゝろ}を^を痛^{いた}人^{ひと}お^おあ^あえ^えと^とか^かく^く痛^{いた}ま^まを^をう^うり^りん^んだ^だ。性^{せい}生^{しょう}を^をよく
 養^{やう}う^う海^{かい}の^の中^{ちゆう}に^にと^とそ^そう^う勸^{すす}め^め肝^{かん}要^{よう}これ^{これ}く^くと^とて^て一^{ひと}さ^さう^う乃^{なり}均^とお
 と^とバ^バト^トされ^{され}り^り

さんひやうむささを畧ぐくもんは
ひりけおもんひすゑめ
むすあふを掬りゆり。あるの弟泣きだ。でう
表奥へて病人の枕よりけ。第一心をそとく看病
しる。娘の音知ても細いなり。あ。涙才に病
もうろく。あ。息をもやうくせがすくよ。お

とていふくとも

と家のけちちねをすきでやんの目の
あつてのまゝよ じいハ あつこ

とけぢりけぢりの人のあつこすけぢきん
かく重宝のふ。是を世家のうき名とハアあつこ
秘んばふれやてはうしーと

○い系竹は想書を離縁の

い系竹の村小孤想とく。一向律義の百姓をーづ。休和
当のち氣よく。おやハ学店のをまてお入。心
を表す。本を切くちげお。膝をまつくそと
遠くおもふ。ねと百姓とハ和当のお目よ入。休想



他^タタ^タげ^タ小^コ社^{シャ}何^{ナニ}人^{ヒト}と。立^タあ^アり^リし^シ終^ハる^ル也^ヤ。新^{シン}た^タる^ルも^モね
減^ヘよ^ヨく^クも^モ山^{サン}を^ヲあ^アり^リし^シ。ま^マづ^ヅと^トあ^アり^リし^シ一^{ヒト}房^{フウ}と^トあ^アり^リし^シ南^{ナン}
け^ケけ^ケ。涼^{リョウ}き^キ風^{フウ}も^モ入^イり^リハ^ハ黒^{コク}紺^{コン}と^トも^モま^マじ^ジく^ク。タ^タラ^ラけ
を^ヲハ^ハゆ^ユり^リく^ク。折^セく^クつ^ツら^ラを^ヲ折^セく^クし^シ。中^{ナカ}も^モ丁^{テイ}寧^{ネイ}と^トあ^アり^リ
そ^ソと^トあ^アり^リし^シ。一^{ヒト}体^{タイ}他^タの^ノあ^アり^リし^シ。小^コ魚^{イサ}を^ヲあ^アり^リし^シ
一^{ヒト}の^ノ底^{ソコ}の^ノあ^アり^リし^シ。あ^アり^リし^シ。小^コ魚^{イサ}を^ヲあ^アり^リし^シ
い^イふ^フ新^{シン}た^タる^ル。是^{コノ}ハ^ハ定^{テイ}て^テい^イふ^フ子^コ息^シの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノ
そ^ソと^トあ^アり^リし^シ。是^{コノ}ハ^ハ定^{テイ}て^テい^イふ^フ子^コ息^シの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノ
是^{コノ}ハ^ハ定^{テイ}て^テい^イふ^フ子^コ息^シの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノ
い^イふ^フま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノ
ま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノ

一^{ヒト}体^{タイ}と^トい^イふ^フ小^コ魚^{イサ}を^ヲあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノ

謀^{ボウ}費^ヒ長^{チヤウ}房^{フウ}仙^{セン}術^{ジュツ}壺^コ 乾^{カン}坤^{コン}天^{テン}碧^{ヒョク}虚^{キョ}言^{ゴン}都^ト
比^ヒ之^ノ海^{カイ}水^{スイ}精^{セイ}魚^{イサ}詠^{エイ} 其^{ソノ}色^{シキ}以^{ヨリ}青^{セイ}論^{ロン}有^{ユウ}無^ム

と^トい^イふ^フま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノ
小^コ。新^{シン}た^タる^ルも^モね。面^{オモ}白^{ハク}と^トい^イふ^フま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノ
夢^{ユメ}の^ノ老^{ロウ}人^{ニン}。一^{ヒト}の^ノ臺^{ダイ}の^ノ肉^{ニク}と^トい^イふ^フま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノ
小^コ魚^{イサ}の^ノふ^フき^キ海^{カイ}の中^{ナカ}小^コ居^イを^ヲあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノ
界^{カイ}の^ノ廣^{ヒロ}い^イふ^フま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノ
新^{シン}た^タる^ル。是^{コノ}ハ^ハ定^{テイ}て^テい^イふ^フ子^コ息^シの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノ
い^イふ^フま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノあ^アり^リし^シ。い^イふ^フま^マの^ノ

その言を聞て眠る。公不_レ能_二度釋と六極一
するもの。それでも所して只とのおゆききの處に
いる。後にもけり。信ぜずあんど。但ハ初カキ落し
せとハあるまじきやといふ也。和者ハ眉を擧げあ。
新たち。こゝろハ平雪の體あり。而も初を改ても。心
づかぬの體。石よ不滅の體有り。阿僧祇をもとるも。朽
ぬれハ石の體。正法よ不空續あり。猶ハ元ても猶あり
朽子ハ空ても朽あり。若妙貴特ハ已ぐらゐの迷
い。いと狂られ。新たちは一句ふ取伏し又いつも
の毎。つたふと困り。其へともうめられり
續一休よりわー卷之三終

○一休和当算老と回答

新を飼ひし事

○一休和当泉別子頃の所移りし事

○一休和当清文の事

續一休とね 卷之四

○一休和当塔川新ちう子息の力

妻の形を送りし事

塔川新ちう婿男。一已十一歳。生れつき男。さうく
元氣よく父母の寵を蒙りて。人々裏の玉とかつて。育
らまう。近き一家の内にお夜の娘。ある。年よその物
來を。て。ゆくす。八。成の玉。様。か。ぬ。中。ふ。采。女。と
も。み。か。う。て。め。だ。く。い。名。付。を。せ。れ。り。日。は。や
す。ひ。し。う。ら。ば。何。も。先。和。当。へ。と。移。り。い。る。を。う。
あ。ま。い。し。う。を。か。き。も。り。上。れ。一。休。と。移。り。い。る。限。り。あ
け。い。や。移。り。い。る。事。さ。き。の。一。を。送。り。移。り。い。る。

尉ヂとありうはとあるまじくあるゆき害も

うけ髪2みのゆい名な所ところ子

とありけハ。新なるまね。水^{ふみ}びよ。紋^{いづ}ぞ。おりのひりり。とぞ。

乙未

二 体和る猫のゝに孕の事

都の巽。多羽橋とやうな小き石橋あり。又帰ゆ
浮世。鱈く友採ちて。六つ一の所上も。四つよね
夜よ人をも愛ひ。朝夕の聲や。もつと云々。芳ちふ
まぬ。乙丑年。近くも相馴ゆ。まじも。いまこ。一子こも。又
ゆと。そ。佐助。今や。子あとも。と。なり。ひ。若。瑞。ある。文。ち。ふ
あ。う。と。運。び。具。佛。具。社。人。この。所。新。の。い。う。く。と。こ。ろ

續一

卷四

くもす。形く声も哀^{あはれ}。病^{やまひ}付^つく。胃^いの氣^きを
養^{やしな}へ。毛^けをすく。こゝろをくく。す。さ。り。お。ん。
ひ。声^{こゑ}を。ま。ぬ。の。形^{かたち}え。よ。し。て。死^し。さ。り。さ。り。ふ。け。ま。
ぬ。割^{きり}。あ。も。強^{かた}き。う。か。し。こ。子^こ。う。親^{おや}。う。お。離^{はな}。ま。し。て。こ。然^{しか}。
傷^{きず}の。絆^{わな}。う。ふ。何^{なん}と。我^{われ}。ぎ。糸^{いと}。舞^ま。一。休^{やすみ}。和^わ。当^{あた}。の。少^{せう}。引^ひ。な。す。を。ま。さ。く。
わ。り。ひ。太^ふ。の。ゆ。し。を。り。け。清^{きよ}。け。し。ふ。一。休^{やすみ}。は。る。新^{あらた}。
の。平^{へい}。人^{ひと}。の。引^ひ。道^{みち}。す。と。あ。う。ば。づ。あ。ま。か。く。容^{よう}。易^い。は。八^{はち}。事^{こと}。り。終^は。
ま。い。も。ろ。猫^{ねこ}。と。い。う。が。お。ろ。し。さ。あ。や。使^{つか}。と。お。つ。ま。ま。り。終^は。
へ。ま。ぬ。ハ。終^は。ひ。た。の。ゆ。し。を。り。上^{うへ}。と。何^{なん}と。我^{われ}。来^こ。世^よ。成^{なり}。心^{こころ}。
の。い。ひ。な。す。を。初^{はじ}。り。う。せ。や。足^{あし}。の。ま。を。終^は。重^{おも}。あ。下^{した}。れ。
ゆ。へ。と。涙^{なみだ}。を。あ。り。お。お。ろ。せ。ば。一。休^{やすみ}。は。る。さ。あ。う。と。氣^き。を。り。

一、地ふ。何ぞや。林を移る。と。う。く。是。ま。ど。う。い。ふ。
 多。ん。ん。か。く。の。め。の。染。異。物。の。な。き。と。の。い。ま。國。積。の。法。を。
 い。く。う。ハ。あ。る。あ。れ。も。ど。う。和。当。は。い。ま。の。う。へ。移。る。肉。法。の。移。
 洲。と。あ。ん。う。と。ん。ど。う。也。是。ま。ど。ハ。あ。る。う。へ。ハ。林。と。の。
 お。後。ハ。汗。腹。の。移。と。社。の。移。ハ。和。當。と。正。と。
 一。て。お。て。い。か。算。術。の。真。儀。を。あ。る。や。人。が。移。く。の。法。を。以。て。算。
 本。ナ。キ。算。盤。ま。て。斗。り。あ。る。も。つ。ま。り。ハ。林。を。以。て。算。術。の。移。
 正。を。様。し。て。又。う。ハ。つ。す。や。さ。う。算。術。ハ。根。元。を。
 確。き。首。を。移。く。思。案。し。ん。な。移。り。て。斗。り。の。法。は。乃。理。を。合。
 あり。う。く。む。う。の。律。度。量。衡。規。矩。準。繩。の。八。法。を。以。て。
 算。る。ハ。い。ま。數。を。あ。る。や。の。移。り。と。う。ん。の。移。一。丈。と。う。ん。の。

一、も。乃。ふ。匿。形。の。桶。ふ。の。何。程。入。う。と。同。バ。是。林。と。も。移。
 り。と。う。く。桶。を。う。び。移。り。す。う。の。利。が。あ。る。い。ま。も。
 算。り。い。ま。一。人。と。う。と。斗。り。と。う。の。移。り。と。う。の。移。り。と。う。
 る。人。は。移。り。す。う。が。算。法。の。真。儀。の。真。義。と。は。移。り。と。う。の。移。
 算。術。の。算。法。人。も。一。時。の。理。は。法。を。以。て。算。り。と。う。の。移。
 り。り。と。う。の。移。り。と。う。の。移。り。と。う。の。移。り。と。う。の。移。り。
 お。ん。の。上。に。い。ま。算。術。の。真。義。の。移。り。と。う。の。移。り。と。う。
 算。り。と。う。の。移。り。と。う。の。移。り。と。う。の。移。り。と。う。の。移。り。
 山。の。浮。世。の。移。り。と。う。の。移。り。と。う。の。移。り。と。う。の。移。り。
 和。當。ハ。算。術。と。算。法。を。移。り。と。う。の。移。り。と。う。の。移。り。
 一。と。う。の。移。り。と。う。の。移。り。と。う。の。移。り。と。う。の。移。り。

よ下ふれりしと望みけむ。和あるさき世なりとのか
飼もぐりや。柿僧も欲しくなりあへらね給ひるかな
米よりいづれ新なるかとおぼれず。やうに涙もあはれに一向
芋のやうな馬ありぞ。それともあらば糸きんとゆるり
ちりぢめく様しく。まじりて清ゆんをくやぐく我を
提おんとすりふか。このぬえをあらくとこけあそび種は
もろくハ散りしかし。その手を合し、標りえん小鶴はハ
あつて大きき芋魁あり。泳ぎゝあかして又々秘く
すゝ和当の四神歌は大ききふりあり。物なき玉極と
笑へば一休ハいやさきバク我始より沢もあらず。芋の
やうなものとハといふと有り難ハ。妙ありと大いとい

傍若無人閑逸心

奈何序下津塵深

夢閨銀燭繡簾月

白日青天吟

○一 体相爲^み如^い意^え之^の人^{ひと}初^{はつ}と見^み之^の人^{ひと}利^りく校割^{がうわり}の乃^の具^ぐを

その乃具の箱はこは待まちを並ならべて作り給ふ

將常住物置菴中

木杓荒離掛壁東

我無如此閑家具

江海多年襄蓋風

○或時にその香りを引取ひ病水を見え

但看江海薄氷池

不_レ覺_二人_一々_レ心_上危

可憐極苦目前急

選道身生終不

續一休之
卷之四
大尾
書林
金瓶梅
詞話
卷之四
大尾
書林
金瓶梅
詞話

